

ちづ 智頭 議会 だより



町の花
どうだんつつじ

鳥取県智頭町議会

第171号

発行：令和7年7月16日

列車の車両数に要注目!!!



智頭の思い出シリーズ60

☆ 令和7年 6月 定例会

…P2・3

☆ 7人の議員が町政に質問

…P4～8

☆ 広報モニターの声 …P9

☆ 各常任委員会の報告 …P10・11

☆ 議長あいさつ …P12



平成23年、土師地区(木原)の水田にて、その年の干支である「うさぎ」を形取った田んぼの風景である。

その後も13年間、その年の干支を制作していたそうです。

6月定例会

令和7年度 補正予算を可決!!

第2回6月定例会が6月12日から19日まで8日間の会期で行われました。
専決5議案の承認を行い、令和7年度補正予算5議案、条例改正など5議案、発議2議案を審議し、原案どおり可決しました。

智頭町まちづくりアンケート調査

24万6千円

どのような目的か。



今後策定予定である第8次総合計画の参考にする。

恋山形駅トイレ整備補助金 571万8千円



何に対して補助をするのか。



建物は智頭急行が整備を行い、上下水道の配管整備に補助をする。



高校魅力化事業補助金 27万円

智頭農林高等学校の学生寮運営補助



どのような補助金か。



県外留学生が朝食をとるなどコミュニケーションを図る場所の提供。



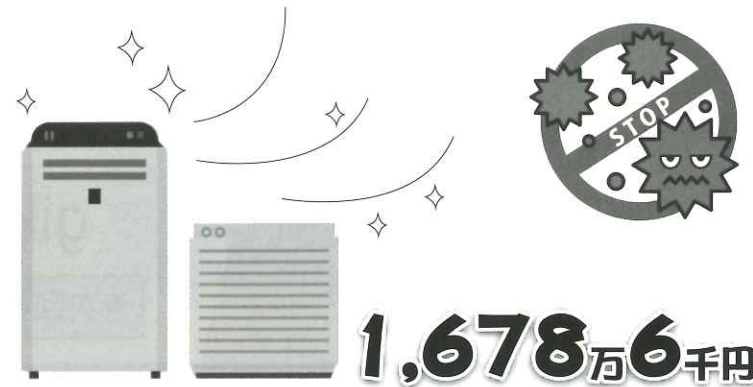
防犯機器購入補助金 15万円

カメラ付きドアホン
センサーライト
など設置補助
(上限1万円)



智頭病院備品購入費

新たな感染症の発生に備えるため、空気清浄機、除菌脱臭機などを整備する。



1,678万6千円

発議



●第3号
智頭町議会委員会条例の一部改正について
●第4号
地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

■財産の無償貸付について

無償貸付する財産
旧平野邸の建物・土地(中町)



無償貸付契約の相手方
VOID株式会社
東京都渋谷区神宮前6-35-3
コーポオリンピック735



10年間無償貸付の目的は。

空き家を活用した観光事業の展開により、智頭宿を中心とする観光エリアの活性化を図るため。



■条例改正など

■専決

- 智頭町まちづくり振興基金条例の一部改正について
(企業版ふるさと納税の寄付金について充当先となる事業先を追記する)
- 智頭町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する一部改正について
- 工事請負契約の締結についての一部変更について
- 字の区域の変更について
- 令和6年度智頭町一般会計補正予算について決算状況を勘案して、各事業の歳出額を調整
- 令和6年度智頭町国民健康保険事業特別会計補正予算について決算状況を勘案して、繰入金金を調整
- 智頭町病院事業の設置等に関する条例の一部改正について
- 智頭町税条例の一部改正について
- 智頭町国民健康保険税条例の一部改正について

一般質問

問 今年3月末までの策定期間をめぐり、18、63地区で地域計画が策定されている。本町でも山村再生課、農業委員会や県、そして関係機関の努力によって地域計画が策定されているが、今後どのように進めていく考えか。

答 町長 本町では、昨年度までに農地利用の現状や10年後の姿を可視化した地域計画を町内全域65地区で策定したところであり、10年という目標値を立てながら一歩踏み込んだ議論を行っていき、これから智頭町の地域計画の実態を推進していくということになる



那岐地区農業座談会

問 6月から地区座談会を行っていく中で、作業受託を活用したり維持する組織を作ったりしていくべきだと思うがどうか。

答 町長 65地区みんな一緒ではなく地区に応じたやり方、考え方を地域の方々と話し合っって向こう10年間を見据えたやり方になっていくのではないかと思う。

問 図書館の利用者拡大を目的とした御意見箱の設置を検討してはどうか、改善

答 教育長 図書館を訪れること自体が子どもたちの読書習慣の確立につながる

問 開館5年目を迎える「ちえの森ちづ図書館」では、小・中学生の利用者が減少傾向にある。子どもたちの成長をサポートする意味でも図書館の活用は有効と思うが、どのように考えているのか。

答 教育長 定例の教育委員会の中からそのような意見があった。利用者の方からご意見を伺い、その内容を受け止めた中で、今後の図書館運営に反映しているところである。改善点も出てくると思うが、それには真摯に考えていき

できるものは前向きに考えることも必要と思うが。



令和2年11月29日に開館した「ちえの森ちづ図書館」



安道 泰治

農業振興

町長／10年後を見据えた計画になる

地域計画の進め方は



大河原 昭洋

ちづ図書館

図書館を活用した教育振興策は

教育長／子どもたちの読書意欲を高めたい

陳情の審査結果

件名(要約)	提出者(要約)	審査結果
① 地方財政の充実・強化を求める陳情	智頭町職員労働組合 執行委員長 藤原 加奈	採 択

■陳情書は定例会が始まる10日前までに提出ください。(土・日・祝日を除く)

TEL:75-3115
gikai@town.chizu.lg.jp



詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

陳情 受付

◆次回の定例会は9月9日より開催予定◆

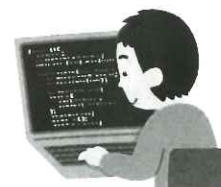
7人の議員が一般質問に臨みました!!

議員名／質問内容	議員名／質問内容
安道 泰治 1. 農業振興対策について 2. 防災減災について	谷口 翔馬 1. 交通安全対策について 2. スポーツ振興策について
大河原 昭洋 1. 持続可能性の高いまちづくりについて 2. 図書館を活用した教育振興策について	波多 恵理子 1. ふるさと納税について 2. 疎開保険について
岡田 光弘 1. DXによる持続可能な自治体運営について	仲井 茎 1. 町民主体のまちづくりに ついて 2. 誰一人取り残さない学びの場 について
北川 貴将 1. 空き家対策について 2. CHIPs事業について	

※一般質問の録画をスマートフォンや自宅のパソコン・IP告知端末で見ることができます!

■スマートフォン・パソコン
を使って検索

QRコードの読み取り



智頭町議会
録画放送



検索

■IP告知端末で視聴

- ①ホーム画面
- ②次ページ
- ③智頭町議会

上記の順番でタッチして下さい。
「智頭町議会録画放送」の画面が表示されます。



②次ページ
をタッチする



岡田 光弘

DX推進

**DXによる持続可能な自治体運営を
町長／課題を克服しながら
DX化を推進する**

問 人口減少社会が急速に進む中、本町の光ファイバー網と双方向告知端末をどのように活用していくのか。またスマホによるDX推進はどのように進めるのか。

答 町長 様々な分野でDX化を戦略的に推進することが住民にとっても行政にとっても必要であり、重要と考える。広く普及してきたスマホと町の告知端末の連携も視野にDX化を図っていききたいと考えている。

問 近年、急速に社会に浸透してきた生成AI技術について、本町としてどのように政策に取り入れ活かそうとしているのか。本町ら

しいDX推進には地域住民の理解と参画が重要と考えるが、どのような住民の関わり方を進めていくのか。

答 町長 本町では生成AIはまだ一部しか活用しておらず、ガイドラインも見直し、職務の時短につながる分野では活用していきたい。住民の関わりについては、住民サービスの充実を図り、住民主体でデジタル社会への転換を図る。



本町のインフラ、双方向告知端末



北川 貴将

チップス
CHIPS事業

**事業に期待することは
町長／持続可能な事業の創出**

問 昨年度から始まったCHIPS事業に対し、今後何を期待していくのか。

答 町長 スタートアップしやすい町を目ざした多世代・多業種融合型オープンイノベーション事業は、本町になくはない持続可能な企業が多く生み出されることに期待する。

問 「人もペットも癒されるまち智頭町」が上位採択となったが、町民に対して福祉や教育の面で有効な手段も検討に入れてはどうか。

答 町長 動物介在教育が有効であると言われているが、今、本町として積極的な取り組みはまだ考えていない。

い。しかし、事業者からの提案によって、共に事業を行うことは可能であると考える。

問 企業の事業項目にあるドッグランと、町民が望む公園があることが、人とペットが癒されるまちの実現になるのではないのか。

答 町長 企業からドッグランの整備について相談は受けている。ドッグランのみだけではなく、飲食店や宿泊施設を併設することは望ましいと考える。



谷口 翔馬

交通安全

**道路の白線を改善しては
町長／改善していく**

問 小中学生の登下校時に対する交通安全対策についての取り組みを問う。

答 教育長 6月に小学校のPTAから通学路危険箇所の要望を聞いており、その後8月に小中学校、行政、智頭警察署、鳥取県、国土交通省と一緒に、毎年通学路の点検を行っている。緊急に改善が必要だと判断した場合、対応をしている。

問 子どもたちが交通ルールを守っていても事故に遭遇するケースがある。全町民一緒に頑張って子どもたちを守っていく取り組みが必要ではないか。

答 町長 大人も交通ル―



ルを守れることを、重ね重ね行政としても、警察と一緒にやっていく。

問 道路の白線について、消えかけて見えない箇所が多々ある。改善することで交通安全の意識改革になるのではないのか。

答 町長 ご指摘のとおりに薄くなっているところが多々見受けられる。各団体が全町を回っている中で、情報がありましたら、重点的に見て改善していく。



波多 恵理子

ふるさと納税

**ふるさと納税の
町長／今後も様々な方法を
検討する**

問 本町においては、一般財源の確保が困難な状況にあり、今後も厳しい財政状況が続くものと見込まれている。ふるさと納税が増加することにより財源の確保ができ、商工振興や本町の魅力発信にもつながり、地域が活性化していくものと考えている。

ふるさと納税の現状と課題認識について問う。

答 町長 令和6年度から県共通の「カニ、梨、肉」などの品目を加え、前年比約2・1倍という寄付あったが、まだまだ寄付の増額に向けた努力が必要と認識している。課題として、返礼品が少なく、高額な品物も少ないことがあげられる。



問 石谷家をはじめとする観光スポットなどをまわると体験できる智頭町体験ツアーやのりりん事業を含め、返礼品として新たに造成し、関係人口の増大を図ってはどうか。

答 町長 体験ツアーを返礼品として造成できればいいと思う。観光協会や因幡街道ふるさと振興財団などに働きかけをしていきたい。



仲井 莖
不登校児童

本町における現状は
教育長／大きく減少している

問 現在の町における小中学校の不登校児童の現状と、実際行っている対策を問う。

答 教育長 不登校児童生徒数は、昨年度の今頃と比較して大きく減少している。対策としては、これまでと変わらず、不登校児童生徒に対しては、個に応じて寄り添って、それから共感的な理解と受容の姿勢で支援をしていく所存である。

また、新たな不登校児童生徒を生まないよう未然防止の視点を持ち、学校運営を行っているところである。

問 学校に行けなくなり、家庭以外に社会とのつながりがなくなってしまうという

うことを一番危惧している。教育長の答弁を聞く限りでは、どの子も何らかの支援につながっているという認識でよいのか。

答 教育長 社会と、それからいろんな人と関わることを大事にしていく、そして、それが子どもたちのこれからのキャリア形成にもなっていくと考えている。そのように、できるだけ地域でもいろんな方と出会うていく、ということに取り組んでいるところである。



SDGs目標4

智頭町消防団水防訓練

■実施日 令和7年5月25日（日）

■場所 智頭町総合運動場

■参加者 議員9人（一人は消防団員として参加）

■訓練の内容

- ① 各機関の情報連絡の習熟徹底
- ② 災害状況に適応する水防工法の習得
- ③ 各集落住民の避難誘導の確認

■目的

台風期（出水期）に備え、河川等の氾濫に対応する水防実技の向上を図り、防災体制の万全を期し、住民の安全を保持することを目的に実施される訓練に参加することで、議員個人の防災意識を高め、今後の議員活動に資する。



水防工法の基本土のう作り訓練



もやい結び・巻結び訓練

9ページ

企業の地域課題解決研修は、例えばどのようなものがあるのでしょうか？

答 都市部企業に社員研修のフィールドとして、智頭町を選んでいただくことがあります。智頭町の課題解決が研修テーマであり、企業の社員が智頭町の職員と一緒にフィールドワークをし、研修を深めていくものです。不定期ではありますがありますが、これまでに、越境リーダーズキャンプ、ALIVEなど智頭町で研修を開催されたことがあり、智頭町の職員も参加し、研修の機会をいただいています。

12ページ

下水道の目視での点検はされているとのことですが、結果はどうだったのかもあればよかったと思います。

答 点検を行った時点では異常はありませんでしたが、今後も引き続き注視していきます。

【町政全般・議会活動に関すること】

特に気になったページに関する意見

9ページ

認知症施策について、周囲の理解、本人と家族の支援について、共に考え、学ぶ機会が増える事は、智頭町においても重要だと感じますので、今後も折

に触れ、議論していただきたいと思ひます。

10ページ

「ゆめが丘にスクールバスを」とありますが、ゆめが丘に限らず、学校からかなり遠いにもかかわらず、徒歩で通学している生徒もいるので、なんとかしてあげてほしいです。

16ページ

町民の声を聞き、智頭町の方々に届ける働きはとてすごいなと思いました。町の方々の気持ちを理解することが町をにぎやかにする点で必ず必要だと思うので、これからも続けて欲しいです。

その他に関する意見

・一般質問を読んで、議員の方々がさまざまな方面から町や町民にはたらきかけてくださっていることを知りました。智頭町をより良くしたいという気持ちが伝わってきました。

・議会と、智頭町社会福祉協議会と、智頭病院、福祉課の意見交換会が5年ぶりに行われたという記事を見て、とても大事な事業だと感じました。これからはもっと回数を増やして、町の福祉事業や福祉体制の強化をお願いしたいと思ひます。

※モニターさんの意見は原文のまま掲載しています。

民生常任委員会の報告

■黒潮町／5月13日
黒潮町は四国の南西部に位置し、平成18年に「佐賀町」と「大方町」が合併して誕生した町である。

木造耐震診断への支援として耐震診断士派遣事業、耐震改修設計費補助事業、耐震改修工事費補助事業が展開されている。特に耐震改修設計費補助事業は上限30万円まで10/10補助、耐震改修工事費補助事業は上限125万円まで10/10補助となっており、多くの住民がこの補助制度の限度内で実施していることから、1,265件もの耐震改修に結びついている。本町で進める耐震診断が最終的に耐震改修にまでつながり、事業の所期の目的を達成するために参考となる事例である。

黒潮町南海トラフ地震・津波防災計画では、町職員約190名がすべて地域担当制となっており、14分団の消防団290名（実質80％）で、防災業務を行っている。防災文明（ハード事業）と防災文化の創造（ソフト事業）をバランスよく付き合ひ、まちづくりを推進していると感じた。

■四万十町／5月14日
四万十町は平成18年に旧窪川町、大正町、十和村が合併して誕生している。「仁井田米」が「特A」となり、生姜が生産量日本一になるなど農業が盛んな町である。

しまんとJOIN（農業マッチングシステム）は、農業の繁忙期の人手不足を解消するために定住希望・検討者などに紹介するシステムである。現在12業者が



高さ22mで230人を収容できる津波避難タワー

災害は、いつかはやって来ることから「あきらめない。揺れたら逃げる。より早く、より安全なところへ。」の合言葉に、犠牲者ゼロを願う町づくりの参考になった。

耐震対策事業と農業マッチングシステム 高知県黒潮町・四万十町へ行政視察

登録しており、通年雇用と繁忙期雇用があり、農業では生姜の一大産地でもあることから、繁忙期には相当な労働力を必要としていることがうかがえた。

四万十町は町全体の方向として、自治体DXに取り組んでおり、それを高齢者にも浸透させるために全町で44名のスマホサポーターを育成認定してシニア向けのスマホ講座を展開していた。また、DX推進を活かし、スマート定住対策協議会を立ち上げてドローンを使った町のプロモーションを行い、若者の定住促進に力を入れて成果も上げていることから、本町のDX推進の今後の取り組みにも大いに参考となった。

本町でも複業協同組合と連携して、農業への利用ができるよう進めていくべき事業と考える。



しまんとJOINについて研修中

総務常任委員会の報告

5月13日

空き家解消に向けて三重県伊賀市へ調査視察

本町の人口減少は、歯止めがかけられない状況である中で、どうにか食い止めるべく三重県伊賀市の空き家対策について調査視察を行った。

伊賀市の人口は約84,000人、アセスとしては名古屋、大阪、京都から鉄道や車を利用して約80分と利便性も高く立地に恵まれているが、人口減少、若者の都市部への流出により、空き家が増加して周辺地域の生活環境への影響や景観の問題も生じることから「伊賀流空き家対策」の取り組みが行われた。

伊賀流空き家対策事業では、空き家バンクの延べ物件登録申請数は581件あり、年間に約64件の新規登録件数ということであった。また、成約件数としては、257件で、年間に約28件の契約実績であった。高実績の要因としては、市直営での空き家バンク運営をしていることで、信頼を得ていることや、すぐに利用可能な家屋が多いこと、移住コンシェルジュとの連携、そして一番魅力的であったのが、360度カメラによりVR内覧が可能なことである。



伊賀市議場にて

本町では、空き家バンクに登録しなければ空き家情報を得ることができない事が一つのハードルになっている。伊賀市では、誰でも登録しなくても空き家バンクの物件が360度VRで隅々まで見ることが強みである。本町も今後、空き家の見える化を促進させていくことで人口流出を少しでも抑えていきたいと感じた。

月例委員会

所管各課の事業進捗状況などについて、質疑を行いました。

4月8日

5月20日

6月16日

主な質疑

Q 米の価格が上がっている中、ふるさと納税の返礼品としてお米をたくさん出してはどうか。

A お米について、返礼品拡大できるか事業者との協議が必要である。

Q 4月から中学校3年生が1クラスとなっており、受験も控えていて大切な時期だと思いが現時点の状況はどうか。

A 中学校にも行って見たが、現状大きなトラブルもなくスムーズにできている。また、担任も2人つけており、生徒にとって安心して学校生活が送れる環境を整えている。

Q 中学校の体育館空調工事はいつまでが工期か。

A 6月30日までは、完成予定である。



議会活動のより一層の充実へ

議長 谷口 雅人

今期議会を代表して、任期を終えるに当たり町民の皆様にお礼のご挨拶を申し上げます。今期議会は定数12でスタートしました。

前々期より議論を重ねてきた議員報酬と議員定数は、コロナ禍の時に町民の皆様のご協力をいただき意見の集約を見ることができました。結果、町内世論を尊重して報酬は段階的引き上げ、定数は2議席減の10議席となりました。いずれも来期からの適用となります。

最大の課題は人口減少

今期任期中、残念ながら河村仁志前副議長、藤田浩祐議員（いずれも故人）が志半ばにして議会を去られました。その喪失は大きく心ならずも定数10を先取り体験する事となりました。

慎んでご冥福をお祈りいたします。このような状況下において議会力低下を防ぎ、言論の府としての機能を向上するための議論を今期中の責任と位置付け定期的に行ってきました。来期議会の機能は担保できたものと思っております。

現在、智頭町のみならず全国の自治体の最大の課題は人口減少であります。智頭町における要因を分析して智頭町独自の対応を議会、行政がしっかり取り組むべく議論を行ってまいりました。このことは、来期議会に申し送りとなりますが、様々な機会にご意見をいただいた全ての皆様、今期議会にご助言をいただいた町民の皆様に深く感謝申し上げます、お礼のご挨拶とさせていただきます。

編集後記

日本には明確な四季があることが魅力のひとつではありますが、連日の猛暑が身体に伝わる年代になってきました。暑中お見舞い申し上げます。

現在智頭町議会では最重要課題として、毎月「人口減少問題」について、集中的な議論を熱く展開しております。

この話し合いにより持続可能なまちづくり、住民満足度の高いまちづくりに道筋が見いだせればと思います。また議会だよりでも住民の皆様に関わりやすくお伝えしていきたいと考えております。今後とも、どうぞよろしく願います。

（岡田）

編集 広報広聴常任委員会

委員長 波多恵理子

以下議員全員
発行責任者 議長 谷口 雅人